

メキシコの政策金利引き上げについて

ポイント① 政策金利を7.50%に引き上げ

2月8日、メキシコ中央銀行は金融政策決定会合を開催し、政策金利であるオフィシャル・オーバーナイト・レート（OFR）を0.25%引き上げ、年率7.50%とすることを決定しました。

利上げは2会合連続となり、市場参加者の多くは、今回の利上げを予想していました。

ポイント② インフレ抑制を優先

同中銀は、「インフレ期待を抑制し、3%の目標値に向けたインフレ率の低下トレンドを強化するために全会一致で今回の利上げを決定した」としています。

2018年1月のインフレ率は5.55%と昨年12月の6.77%から上昇率が縮小しました。同中銀は声明文において「2018年中はインフレ率の低下が続き、3%の目標値に近づき、2019年の第1四半期には3%に達し、2019年はその水準近辺で変動すると見込まれている」と説明しています。

しかしながら、NAFTA（北米自由貿易協定）再交渉の不調や米国の金融政策などを受けたメキシコペソの下落をインフレ率が上振れるリスクの要因として挙げています。「不確実性の高い環境において、インフレのリスクバランスは依然上昇方向にある」としています。

同中銀は、「中長期のインフレ期待を抑制し、インフレ率を3%の目標値に収斂させるために必要であれば、適宜、断固とした行動をとる」としました。

ポイント③ メキシコペソは下落

2月8日の外国為替市場（ニューヨーク時間17時頃）では、メキシコペソは対米ドルで前日比0.5%程度、対円で同1.1%程度のメキシコペソ安となりました。

図1：政策金利の推移

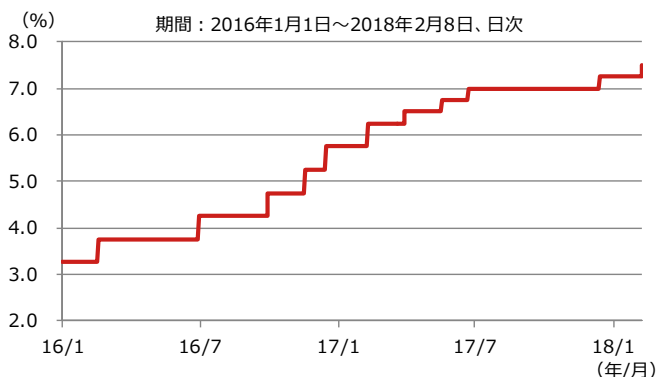


図2：消費者物価指数（前年同月比）の推移

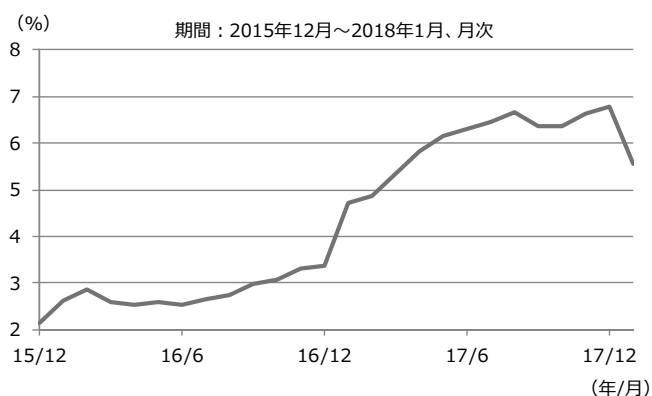
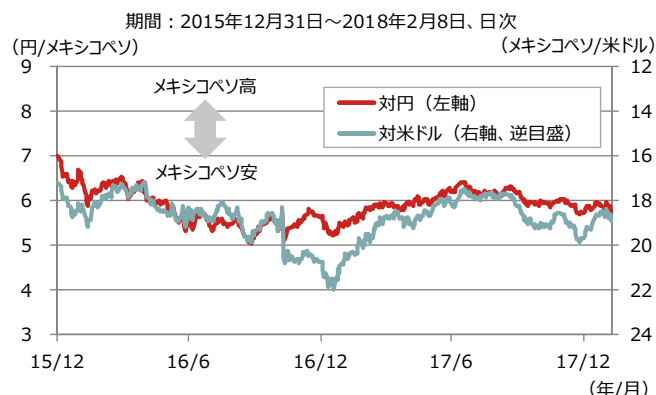


図3：為替レートの推移



(出所) Bloombergデータより野村アセットマネジメント作成

重要
イベント

2月27日	失業率(1月)
2月27日	貿易収支(1月)
3月8日	消費者物価指数(2月)